

関西広域連合環境保全局

令和元年度「関西の活かしたい自然エリア」エコツアー体験学習

アンケート結果

【実施日】令和元年 10月8日(火)

【回答数】参加者 13名分

アンケートの設問内容について

2019年10月8日(火)に実施したエコツアー体験学習の終了後に、参加者に対してアンケートを行った。その設問内容を以下に示す。ただし、Q4～Q6の設問は、旅行事業者など地域のツアープランナーとなる参加者のみ、Q7とQ8の設問は企業や自治体の研修担当者のみを対象にした設問である。

Q7とQ8については、参加者に該当者がいなかったため記載していない。

アンケートの回答人数は、13名分(うち旅行業関係者7名分)である。

Q1) 所属先・氏名

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について(4段階評価)

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満

Q3) エコツアー体験学習で良かった内容とその理由

Q4) 今回の訪問地およびコンテンツの事業や旅行商品等への取り入れの可能性について(4段階評価)

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからない

Q5) 本エコツアーが一般の旅行であった場合の最高販売価格(JR三ノ宮駅発着とする)

Q6) 地域の自然資源をツアー等に取り入れる場合の課題について(日本人旅行者、訪日外国人旅行者のそれぞれを対象とした課題と、両者に共通する課題)

Q7) 今回の訪問地およびコンテンツの社内研修への取り入れ可能性について

4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからない

Q8) 地域の自然資源を社員研修に取り入れる場合の課題について

Q9) エコツアーを実施する際に重視する要素(食事、文化、景観、非日常の体験、自然観察、
知的好奇心、その他)

Q10) 自由記入欄(ご感想、提案、アイデア等)

アンケートの結果について

設問に対する参加者の回答結果を以下に示す。Q2 と Q4 は訪問地ごとの設問となっているため、記載順が設問時のアンケート用紙とは異なる。また、アンケートの意見に関して、原文を尊重して記載した。

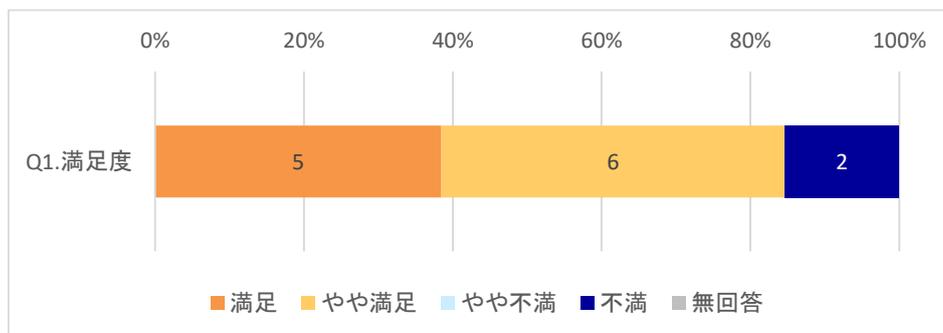
■訪問地① 天満大池

滞在時間：90分(9:25-10:55)

内 容：ため池の歴史と活用についての解説。絶滅危惧植物アサザの保全活動や、外来種ナガエツルノゲイトウ、アカミミガメの除去活動についての解説。

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について(4段階評価)

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満



※グラフ内の数値は回答者数、以下同様。

「満足」と回答した方の理由・意見

- ・外来植物(ナガエツルノゲイトウ)の徹底的な防除体制に感心した。(行政関係者)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・ナガエツルノゲイトウの対策や、アサザの保全活動など、ため池にかかる県内の活動でも参考となった。質問の時間があれば良かった。(行政関係者)
- ・取り組みがとても面白かった。(博物館関係者)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

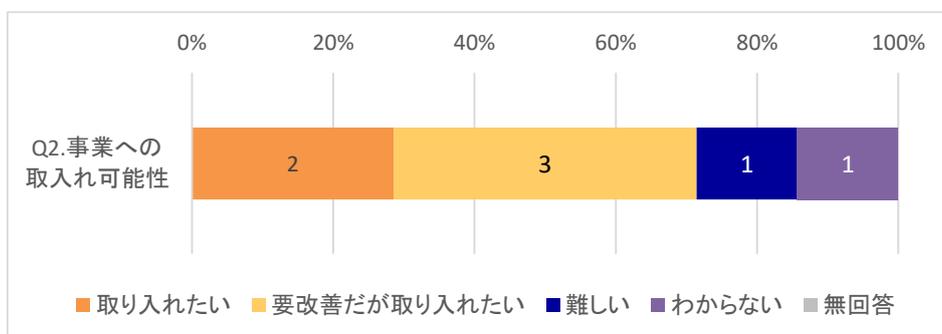
「不満」と回答した方の理由・意見

- ・知りたい内容が少なかった。(行政関係者)

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について(4段階評価)

- 4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、1・・・わからない

※旅行事業者や地域のツアープランナーの方への質問



「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・外来植物(ナガエツルノゲイトウ)の徹底的な防除体制に感心した。(行政関係者)

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・祭事と平行して見学できれば、参加者の興味をより引けるだろう。
- ・トイレ設備の充実が必要。

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて80%以上となった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」または「要検討だが取り入れたい」が7名中5名、「難しい」が1名となった。
- ・希少植物のアサザの保全活動だけでなく、ナガエツルノゲイトウやアカミミガメといった外来種の駆除の取り組みについての解説が好評だった。
- ・事業への取り入れの際は、祭事など文化的なコンテンツを取り入れると、より幅広い参加者の興味を引くことができるだろう。

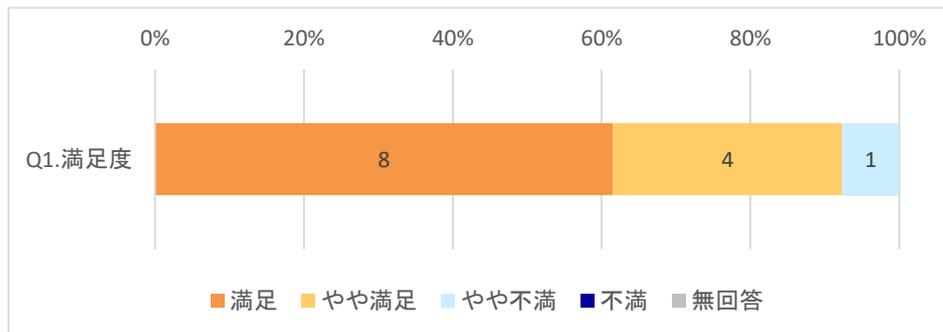
■訪問地② 昼食（にじいろレストラン）

滞在時間：60分(11:00-12:00)

内 容：JA直営の地元食材をつかったバイキング形式レストラン。

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について（4段階評価）

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満



「満足」と回答した方の理由・意見

- ・天満大池の見える場所での昼食は良かった。（博物館関係者）
- ・値段的に高く感じたが、満足。（行政関係者）
- ・品数が多く、どれも美味でした。（行政関係者）

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・料理の種類も豊富で味も良かった。ヘルシー志向も良い。（行政関係者）
- ・味は美味しく、デザートも複数から選べて良かったのですが、少しお値段高めと感じた。（コンサル）
- ・食材は豊富で良いが、団体客は厳しい。（旅行業）

「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・あまりリーズナブルではなかった。（行政関係者）

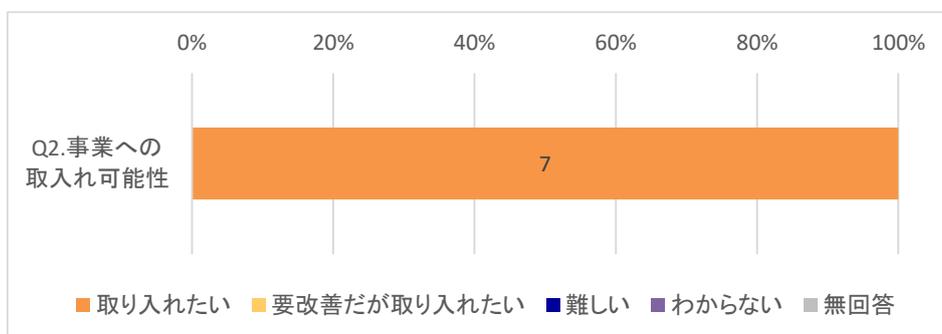
「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について（4段階評価）

- 4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからない

※旅行事業者や地域のツアープランナーの方への質問



「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・美味しく、値段設定も良い。
- ・新鮮な野菜はとても美味しかった。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

○まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて90%以上となり、ほとんどの参加者が満足する内容であった。
- ・事業への取り入れ可能性については、7名全員が「取り入れたい」となり、旅行者者に特に好評であった。
- ・新鮮な野菜をつかった料理や味、品数の多さが好評だった。また、天満大池を望めるロケーションも良いという意見があった。

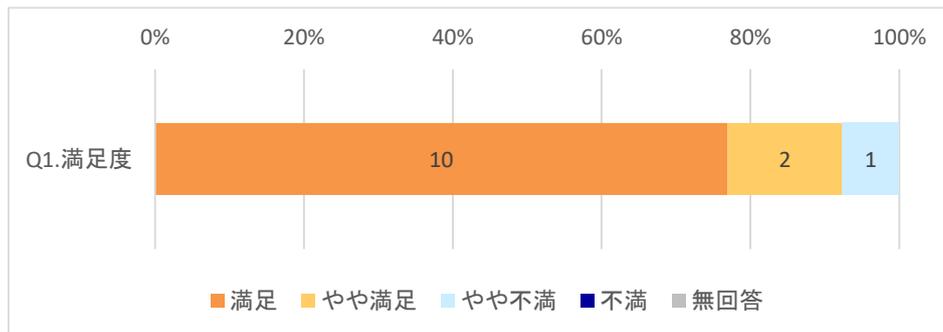
■訪問地③ 網引湿原

滞在時間：120分(12:30-14:30)

内 容：低層湿原の視察、湿地の保全活動の紹介、湿地の生き物の観察等。

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について(4段階評価)

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満



「満足」と回答した方の理由・意見

- ・湿地の成り立ちや植物について詳細な説明があり、良かった。(行政関係者)
- ・バイオマストイレ、行政の力を極力頼らない活動。(博物館関係者)
- ・熱心に説明いただき、日頃からの保全活動が伝わった。(行政関係者)
- ・行政が関与せずに、保存会だけで湿地環境を維持しているのは素晴らしいこと。(行政関係者)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・地元で守るという機運の高まり。(行政関係者)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

なし

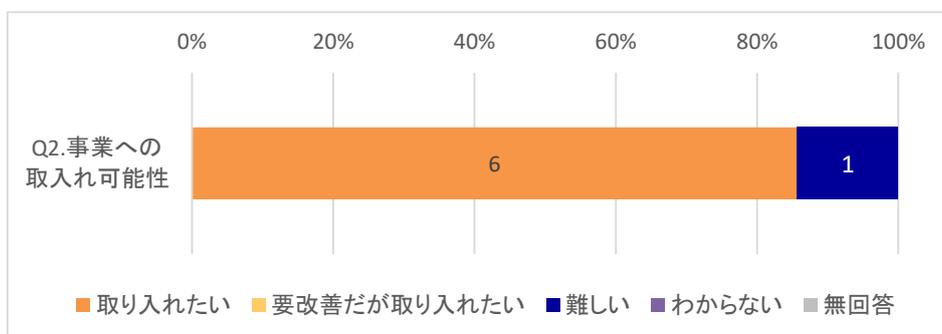
「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について（4段階評価）

- 4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
- 1・・・わからない

※旅行事業者や地域のツアープランナーの方への質問



「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・ 珍しくて、自然が豊か。
- ・ 珍しい生物とのふれあい。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

なし

「難しい」と回答した方の理由・意見

なし

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

〇まとめ

- ・ 体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて90%以上となり、ほとんどの参加者が満足する内容であった。
- ・ 事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」が7名中6名、「難しい」が1名となり、旅行業者にも好評であった。
- ・ 湿地の自然環境や珍しい生きものとのふれあいはもちろん、あまり行政に頼らない保全活動、湿地の維持管理についての紹介も好評だった。

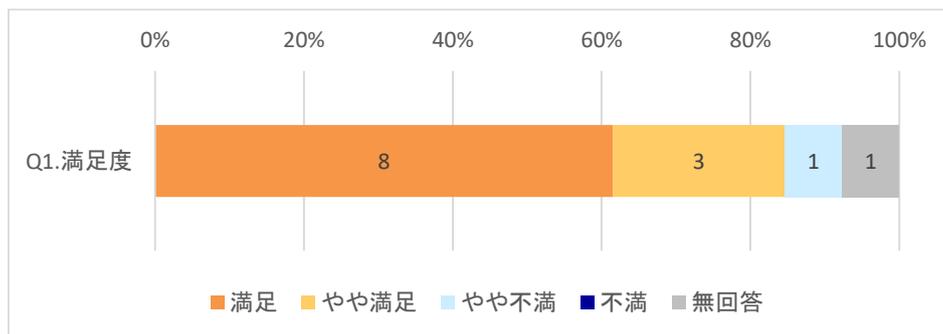
■訪問地④ 逆池

滞在時間：60分(15:00-16:00)

内 容：太陽光パネルによるため池水面の発電利用の経緯、外来種オオバナミズキンバイの対策についての解説、加西市内の重要な生態系情報整理の取り組み等。

Q2) 本ツアーの各訪問地の満足度とその理由について(4段階評価)

4・・・満足、3・・・やや満足、2・・・やや不満、1・・・不満



「満足」と回答した方の理由・意見

- ・行政目線での意見と取り組みが聞けた。(行政関係者)
- ・希少種の分布と、それを守る方法。(博物館関係者)
- ・加西市の方に説明していただけたのが良かった。もう少し時間があって、池を一周回ったりしたかった。(行政関係者)

「やや満足」と回答した方の理由・意見

- ・エネルギーと生物多様性の両立をしている現場を実際に見ることができて良かった。(行政関係者)

「やや不満」と回答した方の理由・意見

- ・いこいの家を利用できれば良かった。(旅行業)

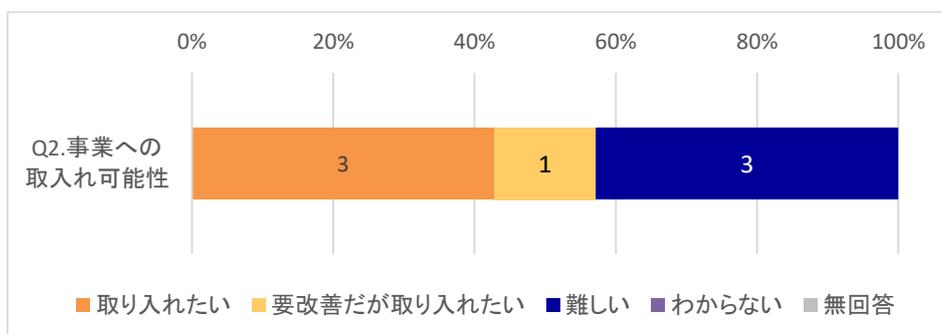
「不満」と回答した方の理由・意見

なし

Q4) 事業や旅行商品等への取り入れの可能性について(4段階評価)

- 4・・・取り入れたい、3・・・要改善だが取り入れたい、2・・・難しい、
1・・・わからない

※旅行事業者や地域のツアープランナーの方への質問



「取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・太陽発電の視察にふさわしい。
- ・日本の科学発展。

「要改善だが取り入れたい」と回答した方の理由・意見

- ・改善ではないが、春に桜がきれいに咲いたら、取り入れたい。

「難しい」と回答した方の理由・意見

- ・利用できるトイレがないのはつらい。

「わからない」と回答した方の理由・意見

なし

〇まとめ

- ・体験、見学した内容に関する満足度としては、「満足」と「やや満足」が合わせて80%以上となった。
- ・事業への取り入れ可能性については、「取り入れたい」または「要改善だが取り入れたい」が7名中4名、「難しい」が3名となり、事業としての取り組みは難しいと考える旅行者が多い傾向が見られた。
- ・加西市の担当者の方による、行政目線での生物多様性保全、外来種対策の取り組みの話や、地域の重要生態系の情報整理については、同じ行政関係の参加者から好評であった。

Q3) エコツアー体験学習で良かった内容とその理由

◆実際に活動している方より直接話を聞いた

- 加西市役所の方からのお話は、同じ行政側の立場で、大変参考になった。(行政関係者)
- 解説して下さった方のお話が、それぞれとても良かった。特に天満大池では、愛好会等ではなく池を管理されている立場の方から、重要種保全と外来種対策について聞いたのが新鮮だった。(コンサル)
- 3か所とも活動者の方の“生の声”をしっかりと聞いて良かった。行政-住民の協力例や、博物館や研究機関の役割についても、生の話を聞け、団体として、また個人として、記憶に残るような自然体験ツアーを企画したいと思った。(学生)

◆ため池や湿地の自然環境を体験できた

- 地元に湿地が無いため、あびき湿地を体験できて良かった。(行政関係者)
- 湿地に実際に入り、貴重な植生を間近で見学できた。宝塚の松尾湿地、三田の皿池でも見たハッチョウトンボがいると聞き、似たような環境なのかなと思いました。(博物館関係者)
- 自然に触れられる良い機会かと思った。普段行けない所を体験できた。(旅行業)
- 自然についてとても深く勉強することができました。(旅行業)

◆説明・解説方法が良かった

- 詳しく説明してもらいました。あびき湿地が一番いいと思います。中国人は日本の自然環境よく理解したいと考えています。(旅行業)
- 説明が詳しく丁寧だったこと。初めて訪れる人にも分かり易く、勉強になる。(行政関係者)
- 他の参加者やスタッフさんと自由に話したり、質問できる環境が整っていて、自分の団体のために何を取り入れられそうか、考えるきっかけを頂けた。(学生)
- 外来種の現物を見ながら、「何故問題なのか？」を教えていただくことも少ないので、貴重な体験だった。(学生)
- 生物学の専門家がガイドをしてくれたので、興味深いです。(旅行業)

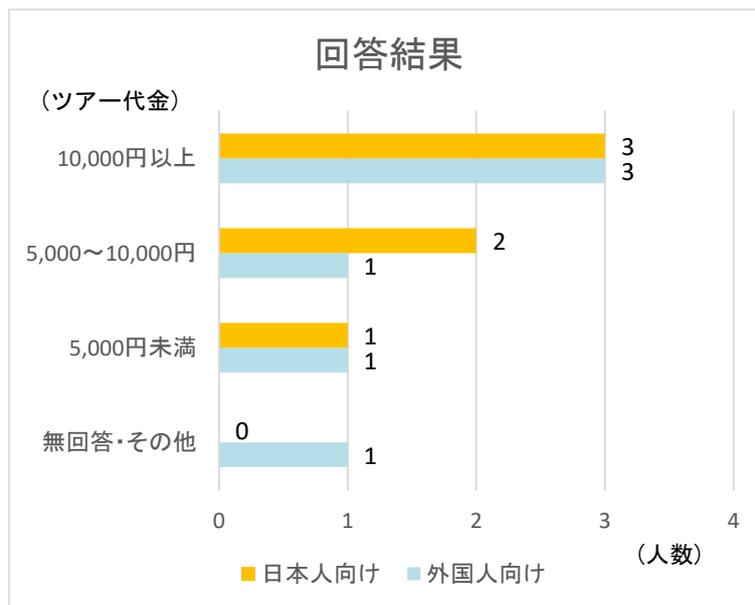
◆エコツアーや研修等のコンテンツとして

- 県内の湿地の希少種を保全する際の参考になった。(加西市の)生態系レッドリストのパンフレットが、今後の県版生態系レッドリスト作成の参考になった。(行政関係者)
- 環境と自然保護のツアーを作るためにこのツアーに参加したが、とても役に立つものだった。色々な素材を入手できて、大変勉強になった。またこのようなツアーに参加したい。(旅行業)
- 加西市の取り組みが熱心であった。ツアーツールにはなるかと思う。(旅行業)
- 中井さんのバス内でのお話は、「地域の自然をどう生かすか」「どういう伝え方をすると覚えてもらえるのか」を楽しく企画するために活かそう。(学生)

◆その他

- 昼食場所の「にじいろふぁーみん」は非常に良かった。(旅行業)

Q5) 本エコツアーが一般の旅行であった場合の想定最高販売価格（JR 三ノ宮駅発着として）



【今回の参加人数 13 名でツアーを実施する場合の 1 人当たりの負担額】

$$171,060 \text{ 円}^* \div 13 \text{ 名} = 13,158 \text{ 円}$$

【バスの定員(正シートのみ)45 名でツアーを実施する場合の 1 人当たりの負担額】

$$223,220 \text{ 円}^* \div 45 \text{ 名} = 4,960 \text{ 円}$$

※エコツアーの費用：バス代（ガソリン代含む）、高速道路利用代、駐車場代、昼食代、ガイド謝礼、保険代

○まとめ

- 今回は日帰りのエコツアーであり、旅行事業者の方々は、日本人向け・訪日外国人向けともに 1 人あたり 10,000 円前後の負担額を意識されたという結果が出た。
- 今回の参加人数（13 名）での 1 人当たりの負担額は約 13,000 円となり、旅行事業者の方々の設定金額と、比較的近い金額となった。
- 大型バスの定員（正シートのみ）の 45 名であれば、1 人あたりの金額は約 5,000 円となり、価格的にはかなり抑えられた金額となった。

Q6) 地域の自然資源をツアー等に取り入れる場合の課題について（日本人旅行者、訪日外国人旅行者のそれぞれを対象とした課題と、両者に共通する課題）

※旅行事業者や地域のツアープランナーの方への質問

◆日本人向け

- ・「教育キャンプ」に限定すれば、可能か。

◆外国人観光客に向け

- ・（解説だけでなく）何らかの体験活動は必須
- ・（専門的な情報の）通訳の問題
- ・旅行代の問題

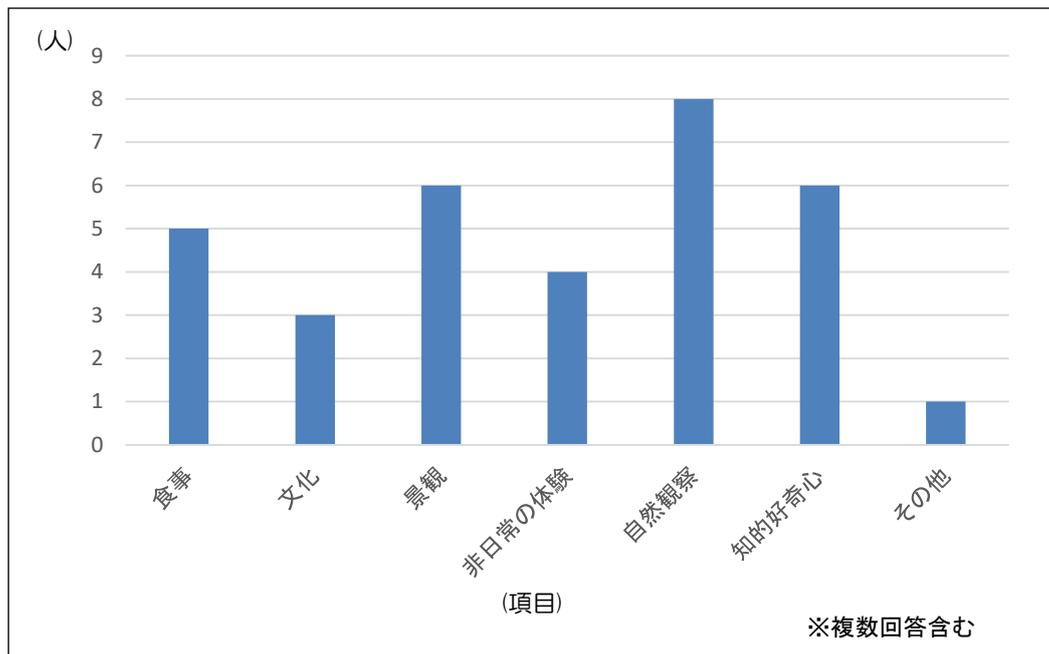
◆共通課題

- ・参加者に対して（通常の観光ではないということについて）理解、周知が必要。
- ・解説板や休憩のための椅子の設置が必要。
- ・参加者の安全のために、行先の環境の情報や服装、装備の指定などが必要。
- ・私に対応している団体は高齢の方が多く、あまり長距離は歩けない。短い距離での研修が必要。

○まとめ

- ・日本人観光客と外国人観光客を分けた設問だったが、専門的な情報の通訳以外は、共通して課題となる意見が見られた。
- ・特に、参加者に対して、通常の観光ではない「エコツアー」であるということの周知や、服装、装備の指示、徒歩移動の距離等の情報を前もって参加希望者に伝えることは、トラブルや事故のないエコツアーの運営のために重要であると考えられる。

Q9) エコツアーを実施する際に重視する要素（食事、文化、景観、非日常の体験、自然観察、知的好奇心、その他）とその理由



◆「食事」を重視するコメント

- ・やはり食事は重要。(旅行業)

◆「文化」を重視するコメント

- ・3か所のため池のように、ため池まわりの人々の関わり方が異なったり、歴史的背景がそれぞれあったりしたことなど、文化的にも面白かった。(学生)

◆「非日常の体験」を重視するコメント

- ・非日常の体験を通じて、働いておられる方～学生や定年後の方など、幅広い年齢に通用する面白い内容にしたい。(学生)

◆「自然観察」を重視するコメント

- ・どんな方にも平等で、繰り返し来てもらいたい、活動に参加しつづけて欲しいと思ったとき、カギになるのは自然だと思うので、自然観察は重視したい。(学生)
- ・里山や生物多様性に興味を持っている会員が多く、自然観察や景観を重視している。(博物館関係者)
- ・何が見られるか(野生の動植物種、独特な環境とか)を一番重視する。(旅行業)

◆「その他」を重視するコメント

- ・希少野生生物をテーマにしたエコツアーを新しく創り出し、地域が自律的に自然保全できる仕組みを整えるため。(行政関係者)
- ・参加型であるかどうか。(旅行業)

○まとめ

- グラフでは「自然観察」を重視する参加者が最も多く、「景観」や「知的好奇心」を重視する意見がそれに次いで多かった。
- ツアーということもあり、「食事」を重視する意見も多く見られた。

Q10) 自由記入欄（ご感想、提案、アイデア等）

- ぜひ大学にもご周知いただけましたら幸いです。これからのボランティアを担っていく後輩や、いつかまた別の場所で、仕事や趣味で自然に関わる学生が参加できたら、大きな学びになると思いました。実際に、ツアーを通じて様々な考え方や団体の様子、自分の知識の浅い部分に気付くことができました。本日はありがとうございました。（学生）
- 今日の説明していただいた方は良い意味で「濃い」方であり、地元のことについて詳しい方であったことが良かった。（行政関係者）
- 長時間に渡りご案内していただき、ありがとうございます。一度見てみたかったあびき湿原に行けて良かったです。今日行った4か所は季節によって顔が変わると思うので、また行けたらと思います。（博物館関係者）
- 事務局の時間管理というか、説明される方とコメントされる方の話が長く、参加者は2人のやり取りを聞かされている感じがした。エコツアーにならないと思う。（行政関係者）
- 3ヶ所とも、解説してくださった方の説明が分かりやすく、それぞれの保全の取り組みや外来種の問題・対策を実際に見られて良かった。自然・生きもの好きな人にはとても嬉しい内容と思う。（コンサル）
- ご計画ありがとうございます。各種旅行・ツアーに取り入れるのは集客の面で難しいのでは。（旅行業）
- 今日はありがとうございました。非日常の体験はすごく楽しかったです！また参加したいです！（旅行業）
- 商品として売れるかどうか分かりませんが、個人的に内容として良いツアーだったと思います。ありがとうございました。（旅行業）
- 楽しかった見学、色々な勉強しました。日本の自然と環境と科学。（旅行業）
- 体調不良によりご迷惑をお掛けしてしまい、すみませんでした。有意義なツアーだったと思います。研修にはもってこいですね。（行政関係者）